

# 豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第29号

発行日 2025.12.17

2025年11月調査結果

“豊田の景況感、製造業中心に全体的に持ち直しの様相”

	現状判断 D I				先行き判断 D I				水準判断 D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	44.7	47.9	51.6	46.5	45.2	51.4	53.1	48.2	43.5	47.9	53.1	46.0
全国	48.5	49.5	48.1	48.7	50.8	49.2	48.7	50.3	47.3	47.7	48.2	47.5
東海	46.8	—	—	47.0	49.1	—	—	49.4	46.4	—	—	47.2

※全国、東海は内閣府11月調査 【天気図の見方】 D I 値 大きな晴れ：60点以上 / 晴れ：50～60点未満 / 曇：40～50点未満 / 雨：40点未満

## 2025年11月 調査結果総括

現状の豊田における景況感は、前回の2025年5月調査から全体として製造業を中心に「持ち直しつつある」状況にあります。「新政権の施策」や「所得増加」への期待感が、景況感を押し上げている要因として挙げられます。一方で、景況感を押し下げている要因としては、景気モニターの声でも多く挙げられている「物価高の影響」や「中国との関係」となります。「物価高の影響」については、所得は今回調査においても改善の兆しが見られるものの、物価高への懸念がこれを上回り、景況感の伸び悩みに反映されています。特に建築資材や人件費高騰の影響を大きく受けている様子の「住宅」と「小売」に景況感の弱さが見られます。他方、製造業においては自動車関連中心に売上増加やガソリン減税への期待によって、景況感の全国比優位な状況が確認されています。総じて、全国に比べ景況感を慎重に見る傾向のある「豊田」では、現状判断 D I の全国比劣位の状況には変わりはありません。

**先行き見通し**については、「製造業」「非製造業」とともに来客数や自動車販売台数が増加傾向にあることなどを受けての改善が見られています。一方で「飲食」に弱さが見られ、材料費や人件費高騰を先行きも心配されている様子がうかがえます。全国比では全体的に慎重な先行き見通しとなっています。

**足元の景況感**を示す水準判断では、「住宅」に際立つ景況感の弱さが見られます。「豊田」における土地の高騰、資材高騰により新築住宅に手が出ないといった声もあり、全国比でも大幅に弱い足元の景況感となっています。

## 2025年11月 特別調査結果

**【所得見通し】**所得が増えていくことへの期待感の回答割合は、2019年5月コロナ禍前の水準26.6%を超える33.7%まで徐々に高まっています。  
**【お小遣い調査】**増えているとの回答が増加してはいますが、全体の7.3%に留まっており、消費活動への波及までは十分な期待はできない状況です。  
**【高市政権に期待する施策等の調査】**物価高対策への期待が5割を超え、高市政権誕生による自動車の街「豊田」への影響もガソリン税の減税によりプラス影響を期待する声が多く寄せられています。その他、山間部を含めた地域活性化や高齢者向けサービスの拡充、中小企業への支援強化が必要であるとの声も寄せられています。一方で、中国との関係や円安による原材料価格の高止まりを心配するマイナス影響を懸念する声も寄せられています。  
**【貯蓄から投資への移行状況調査】**日経平均株価が5万円を超える状況にあって、55.4%の方が貯蓄から投資への移行完了・進行中との調査結果となりました。一方で、投資に回す余裕がない、仕組みや投資方法の理解が追いついていないとの声も18.1%の方から寄せられています。  
**【来年9月開催のアジア大会に関する調査】**豊田スタジアムやスカイホールも使用されるアジア大会の「豊田」への経済的な好影響を67.9%の方が期待しています。一方で、観戦意向は25.9%に留まっており、継続した周知活動が必要な状況です。

1. 調査期間：2025年11月10日～11月30日

2. 調査客体：283名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：193名 / 有効回答率：68.2%

3. 調査項目：  
 ・ 2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどうか変化したと感じますか？ ⇒ 現状判断 D I  
 ・ 2～3ヶ月前先の景気は現状に比べてどうか変化すると予想しますか？ ⇒ 先行き判断 D I  
 ・ 現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断 D I

<問い合わせ先>  
 豊田商工会議所：吉田・岩瀬  
 0565-32-4594  
 豊田信用金庫：高橋  
 0565-36-1384

4. D I 算出方法：

評価段階		5	4	3	2	1
評価	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数		1	0.75	0.5	0.25	0

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それが D I 値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月/11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から構成しています。なお、本調査では別に「特別調査」を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

# 現状判断

## 総括

総合DI (豊田) 横這い



### ●前回比

- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：不変 (晴→晴)

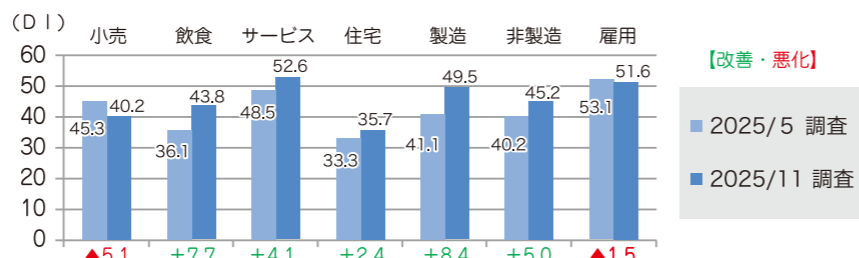
### ●全国比

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：不変 (優位→優位)

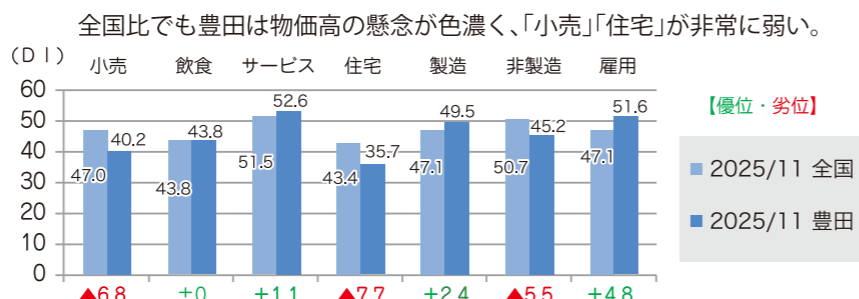
## 業種別内訳

「小売」は来店客数の伸び悩み、その他は物価高が景況感回復の足枷となっている様子。

前回比



全国比



全国比でも豊田は物価高の懸念が色濃く、「小売」「住宅」が非常に弱い。

# 先行き判断

総合DI (豊田) 横這い



### ●前回比

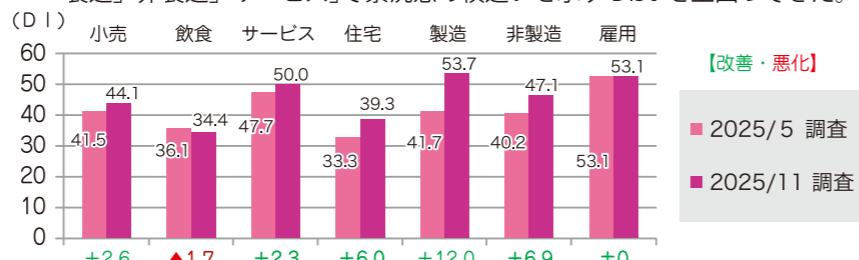
- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：良化 (曇→晴)
- ・雇用：不変 (晴→晴)

### ●全国比

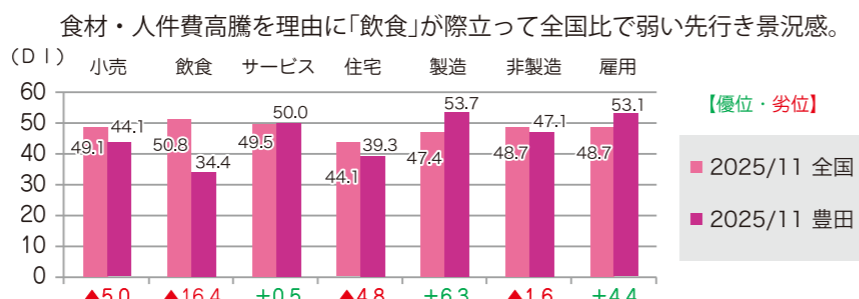
- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：良化 (劣位→優位)
- ・雇用：不変 (優位→優位)

「製造」「非製造」「サービス」で景況感の横這いを示す DI50 を上回ってきた。

前回比



全国比



食材・人件費高騰を理由に「飲食」が際立って全国比で弱い先行き景況感。

# 水準判断

総合DI (豊田) 横這い



### ●前回比

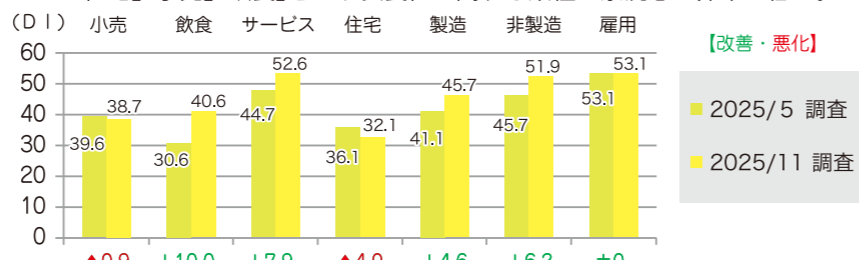
- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：不変 (晴→晴)

### ●全国比

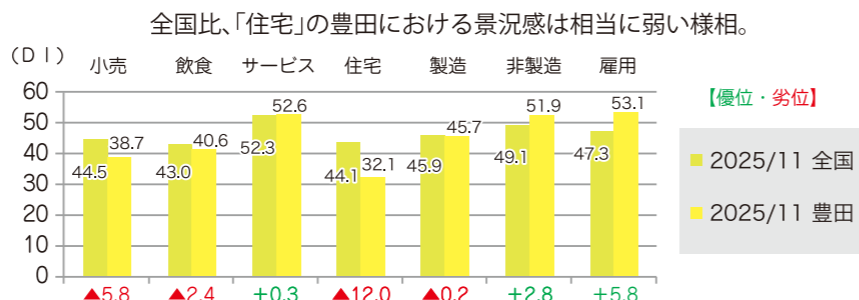
- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：良化 (劣位→優位)
- ・雇用：不変 (優位→優位)

「住宅」「小売」「飲食」という衣食住に関する業種の景況感が非常に低い。

前回比



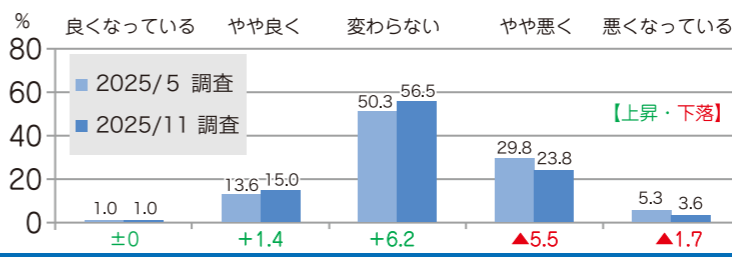
全国比



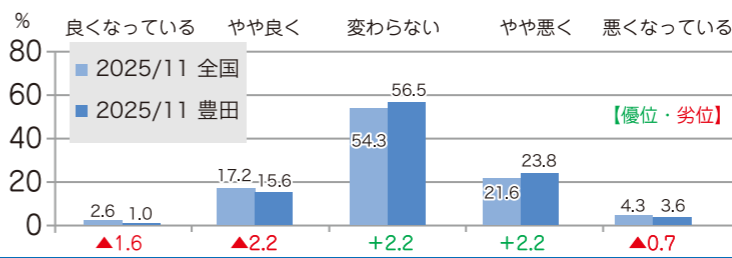
全国比、「住宅」の豊田における景況感は相当に弱い様子。

## 評価段階別内訳

前回比



全国比

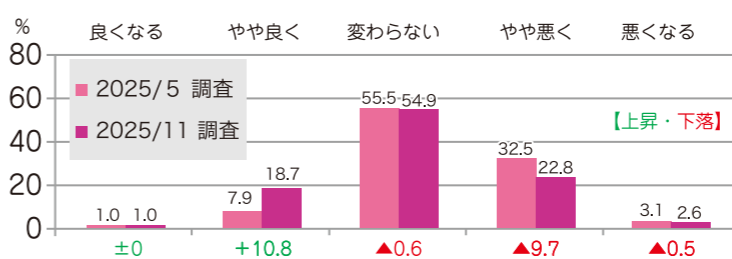


## 景気モニター生の声

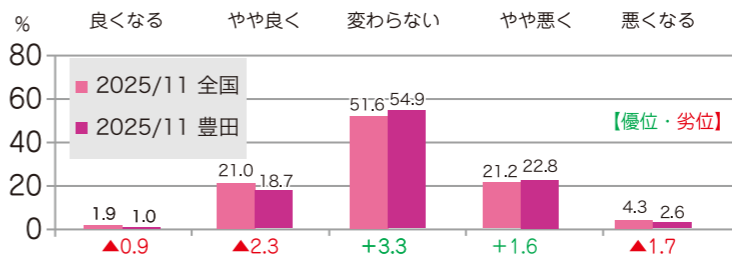
< + : 回復感あり - : 回復感なし >

- +:【自動車販売経営者】以前に比べて、新車販売動向を調べて購入計画を積極的に立て、相談に見える顧客が増えた。
- +:【一般レストラン経営者】コスト上昇分の価格転嫁がようやく進んでいる。
- +:【都市型ホテル経営者】夏過ぎより宿泊需要は更に増えておりコロナ前の稼働を大きく上回ってきている。
- +:【輸送用機械器具従業員】自動車販売台数や売上高が増加している。
- +:【求人情報誌制作編集者】広告費を抑える傾向から、広告はやはり必要だと気付いてきた企業がある。
- +:【家電販売店経営者】Windows10のサポート終了に伴い、企業でのパソコン買い替えが増加しています。この動きが売上や相談件数の増加につながっており、ここ2~3ヶ月は景気が良くなっていると感じています。ただし、この傾向はサポート終了に伴う一時的な需要であると考えています。
- :【商店街代表者】オンラインの利用によって来店客が少なくなっている。
- :【金属製品経営者】メーカーから度々値上げの話がくる。製造業で従業員が着用する作業衣等の値上げのため困っている。
- :【不動産業】お客様の新築戸建て要望はかわらずにある。
- :【電気機械器具製造経営者】設備計画の案件が少ない。

前回比



全国比



< + : 回復感あり - : 回復感なし >

- +:【商店街代表者】お客様の数の多さや客単価が高くなってきている。
- +:【その他小売従業員】豊田市駅西口の工事が完了するため、歩行者の往来や滞在が増えるの見込んでいる。
- +:【金属製品経営者】補助金関係の仕事は減るが高市総理の政策で景気が良くなっていくと期待できる。
- +:【輸送用機械器具従業員】増えた企業の利益が従業員の給与に反映されることを期待する。また新政権の物価高対策により家計が楽になることを期待する。
- +:【学校就業担当者】新車がかつ外車のような高価な車を見かける機会が増えたと感じる。
- :【スーパー店長】地域性もあると思いますが、雇用にしても人材不足、一局集中の傾向、現状の不安、など景気のままならないことを感じています。
- :【設計事務所職員】土地、資材高騰により新築住宅は手が出しづらく、中古戸建をリフォームする傾向にあったが土地も高騰しているため建築業界自体が下火傾向。
- :【輸送用機械器具従業員】北米の関税の先行きを懸念。
- :【司法書士】新築販売件数、インフレの先行きを懸念。
- :【職業安定所職員】主に製造業に従事する派遣社員(外国人)からの相談が増加している。

## 自由回答：景気モニターからの貴重な声

- 当社は価格競争の激しい業種で、売上、販売利益共に大変厳しい折、賃上げ、最低賃金の上昇、経費の上昇等を踏まえ、人員削減も視野に考えなければなりません。国の政策は大企業中心の政策で、我々のような中小零細企業には、到底対応できません。今後、益々厳しい環境になることに危惧しています。
- 日本は99%が中小零細企業であります。ここを優遇する政策でなければならない。
- 不安定な世界情勢(中東、ウクライナ)の解消に光が見え始めているものの、中国政策に陰りが見えており、不安定な情勢が変わらない中ではあるものの、安定した政権で経済政策がどんどん進むことに期待する。
- 豊田市に住んでいるメリットを感じられるような画期的な税対策(自動車関係)を期待します。アジア大会に向けてもっと盛り上げられるはず。小中高大を巻き込んでボランティア活動や飲食関係のイベント等コラボしてもよいのではないかな？
- お米が不足し値上がりしていますが、山間地では使われていない田畑がたくさんあります。食料を輸入に頼らず、もっと農業や稲作に対しての支援を厚くして農業を志す人を増やす対策が必要だと思う。
- 歯止めが利かない円安傾向の今後の展望がどうなるのか？円安が進めば市民レベルで悪影響が広がりがり不景気に進むのではないかな不安である。
- いろいろな物が値上がりしているため、商売がやりにくいです。人件費もばかにならないし、そうかと言ってそんなに高くするわけにもいかないし悩んでいます。
- WRC、国際首長フォーラムなど大型イベントが続いているが、実際の経済効果はあまり感じられない。
- 豊田スタジアムでイベントがある日は、街の駐車場全てが満車となり終わるまで動かない。しかもフリーパーキングは1円でも何か買えば3時間無料のため負担が大きい。イベント時のみ街に来る人よりも普段から来てくれる人を大切にすべき。
- また、商工会が以前実施したようなプレミアム商品券の販売などの開催を期待しています。年金受給者はご近所さん同士が気軽に誘い合える、日帰りツアーの企画も希望しています。
- 公共交通機関が不便です。駅によっては階段しかなく荷物を持つ移動が大変。高速バスもないため飛行機を利用した旅行の機会もなくなりました。電車の乗り換えに時間がかかり、帰りも都合のよい時間に電車がなく、どこに行くのも不便。新幹線への乗り換えも大変。今後高齢者が今以上に増えるのに不便しかたないです。
- 要望としては、豊田市南部に新公園(道の駅・飲食店)を建設して頂けると有難いです。南部はアクセスも悪くないため、他の市からも集客できる見込みもあります。南部の田畑を利用して新公園などを建設できると更なる活性化ができると思います。
- 投資に興味がありますが、なかなか踏み出せずにいる状態です。気軽に相談できたり発信していただけたら、ありがたいです。
- 豊田商工会議所と豊信は地元企業の活性化のために本気になってほしい。豊信は名義変更の手続きが他と比べ遅れているので改善してほしい。

～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

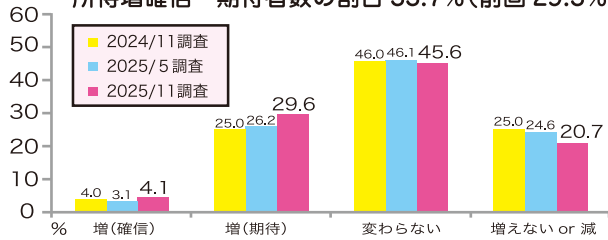
# 【特別調査】

## 所得見通し※ 消費意欲の調査

※2012年から調査を継続しています。

今後、所得は増えていくと思いますか？

所得増確信・期待者数の割合 33.7% (前回 29.3%)

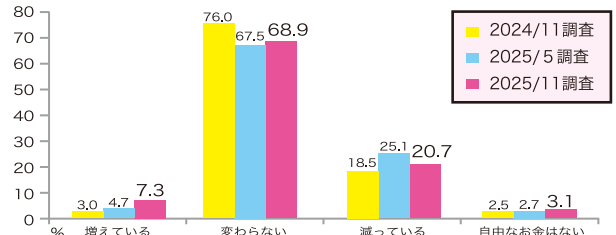


所得増への期待感は引き続き改善傾向。

「コロナ禍」により10%台に低位推移していた所得増への期待感が、前回調査で29%を超え、今回調査も引き続き上昇。人手不足解消のための賃上げによるものと推察されるものの、景況感の改善には十分に反映されていない状況。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

“増えている”割合 7.3% (前回 4.7%)

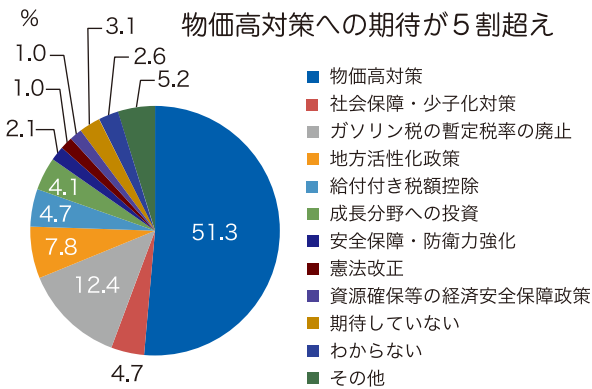


「お小遣い」が増えている方が増加傾向。

消費活動に直結する「お小遣い」については、増えているとの回答が増加(前回+2.6p)している。これは消費活動が活発になっていく可能性を示す結果ではあるが、波及は不十分で節約志向という声はまだ多く寄せられている状況。

## 高市政権に期待する施策などの調査

高市政権の主な施策の中で最も期待している施策は何ですか？



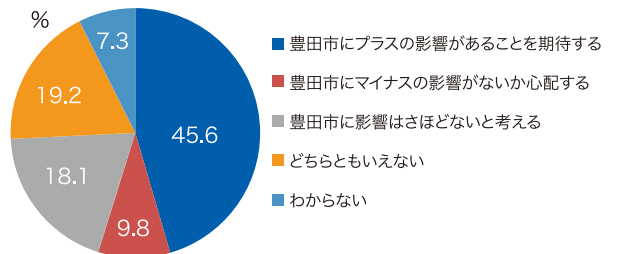
物価高対策への期待が5割超え

【その他、寄せられたコメント】

- 物価高対策と考えましたが、地域が活性化することが最優先と考えます。田舎の人口は決して増えはしませんが、特色のある田舎として活性化すれば、移住はなくても、商売は活性化します。住まなくても、商売は出来る。活気ある町づくりが必要と考えます。
- 期限つき消費税減税を打ち出してほしい。
- 年取の壁の緩和政策と消費税廃止が必要である。
- 高齢者の税負担が増す中、シニア向け車両の安全装置の補助金など、身近な高齢者の生活に耳を傾けてほしい。環境保全、エネルギー分野の研究などは期待したい。
- これから国内の製造業を継続していくためには成長分野への投資を継続していく必要がある。そのために、補助金を含む中小企業への支援を厚くして、新しい方向に進むことが出来るように全体を支える施策を期待したい。

高市政権の誕生による自動車の街「豊田」への影響は？

車の街らしく、ガソリン税減税期待が大きい



【プラスの影響がある期待するとの回答：45.6%】

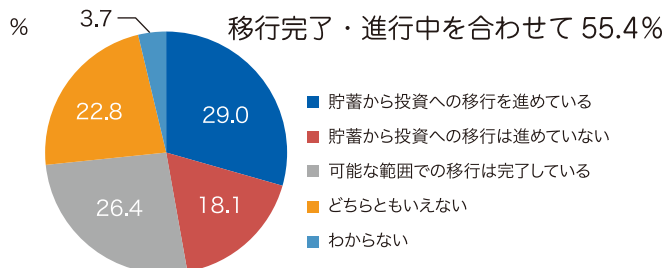
- ガソリンの値下げは豊田市にとってはプラスになると思う。
- 積極財政をする事により円安になる為、トヨタなどの輸出企業は恩恵が有ると思います。
- ガソリン税の暫定税率の廃止に伴う自動車産業の成長で、ゴルフ場への来場を願う。
- 個人の手取りを増やしたり、安心して生活を送れるような政策、緊縮財政見直しは景気を押し上げる事で、自動車産業中心の豊田に良い影響があると思う。

【マイナスの影響を心配するとの回答：9.8%】

- 中国に対する強硬な姿勢が対中貿易（レアアース輸入等）に影響を及ぼす恐れがあると思う。
- 円安になる政策を積極的に進めているため、製造業に関しては原材料価格の高騰が懸念される。(完成品の輸出には有利だと思われるが)

## 「貯蓄」から「投資」への移行状況調査

日経平均株価が5万円を超える状況にあって、国を挙げて進めている「貯蓄」から「投資」への移行状況は？



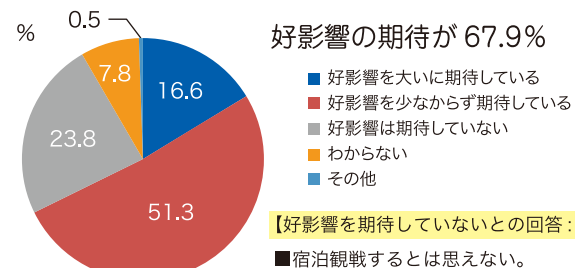
移行完了・進行中を合わせて 55.4%

【移行を進めていないとの回答：18.1%】

- 投資に回す余裕が無い。
- 後発(出遅れ)となってしまったため、旨味は薄いと考える。
- 投資に興味がなく、リスクもあり、信用できない。
- 投資に興味がありますが、仕組みや投資方法の理解が追いついていないため投資できずにいる。

## 来年9月開催のアジア大会に関する調査

豊田スタジアムやスカイホールも使用されるアジア大会への経済的な期待は？ 観戦意向はありますか？



好影響の期待が 67.9%

【好影響を期待していないとの回答：23.8%】

- 宿泊観戦するとは思えない。
- 都市部はともかく山間部にまで来ないのでは。
- 豊田スタジアムの立地の悪さ。

観戦したい：25.9%  
観戦予定なし：36.8%  
現段階では未定：37.3%

- 1 番人気 サッカー
  - 2 番人気 卓球
  - 3 番人気 バスケットボール
  - 4 番人気 バレーボール
- その他、陸上やソフトボールなど